

2023年度 第1回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日時：2023年 5月12日（金）13：00 ～ 16：45

会場：日本代協 会議室

出席者：全理事数 18名、出席理事数 18名、出席監事数 1名（津田文雄 監事）

リアル出席：小田島会長、横山副会長、小俣副会長、中島副会長、山中副会長、佐々木理事、雨宮理事、
下村理事、小橋理事、谷川理事、北島理事、松本理事、石川理事、藤山理事、大城理事、
大和理事、金澤専務、小見常務（事務局オブザーバーはWeb参加）

会長 小田島 綾子氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第33条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

会長挨拶骨子

・皆さん、こんにちは

本日は2023年度1回目の理事会、あらたに気持ち引き締め、よろしくお願いいたします。

はじめに2022年度、全国の代協さんが素晴らしい活躍、活動をしてください、ご覧になっている通り、三冠王の結果については、34の代協さんが達成。連覇は17代協。取り組みが浸透しています。

オンラインから、リアルな活動へ、会員さんの呼びかけや関わりも切り替わって、皆さまから盛り上げていただき、アフターコロナの集い、語り、高めあい、つかみとった成果と思います。感動しました。

委員会答申も読ませていただきました。委員長がチームビルディングからスタート、実質10か月、情熱を注ぎ、良く仕上げてくださいました。

答申はぜひ、全国の会長、そして委員会に所属する方からも読んでいただくことで、取り組みの成果や、難しかったところ、真の目的など、さらに理解が深まります。

本日5月12日から各代協の総会が始まっております。

地域担当理事の皆さんにはご苦勞をおかけしますが、会員さんへ活動にご尽力いただいていることお礼をお伝えください。委員長、副会長も全国を駆け回っていただきますが、よろしくお願いいたします。

さて、新年度始まり、保険業界の他団体、協会さんとの交流の機会をいただいております。会の目的、また国は違っても、世界の環境変化、経済変動、人口推移など見据えながらの募集体制の整備、募集人の資質向上など課題や共通項も多いことを再認識しました。顧客本位の業務運営をより深くとらえ、実行できるよう、そして代理店の魅力より高められるように、業界横断で引き続き、勉強の場と情報共有することなど、お話ししてまいりました。それでは本日もよろしくおねがいします。

<3/10理事会以降の業務報告>

・3/17北東北ブロック協議会、3/24上信越ブロック協議会、4/3事務局新年度開始にあたっての挨拶・情報交換、4/21組織委員会全国委員会挨拶、4/25正副会長WEB会議、4/26韓国代理店協会7名来会情報交換、5/11UCDA来会情報交換、5/11保代協総会挨拶、5/11損保労連意見交換会・懇親会参加

〔審議事項〕

1. 2023年6月開催の2023年度通常総会の開催形式・日程・運営・付議事項等の審議
・会長より、資料に基づき、2023年6月開催の2023年度通常総会の(1)開催形式、(2)日程、
(3)運営、(4)付議事項について提案があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

(1) 開催形式

リアル集合形式での開催とする。

(2) 日程

開催日 2023年6月16日(金)

会場 損保会館2F大会議室(東京都千代田区神田淡路町2-9)

日程 10:00~ 通常総会
12:30~13:30 政連臨時代議員会
13:30~16:30 全国会長懇談会
16:45~18:00 特別セミナー 講師:小俣 藤夫 日本代協副会長
18:15~19:30 懇親会(立食、有志、会費制)

(3) 総会運営

総会議長候補者(1名)議事録署名人(2名)の選出

- ・議長候補者 橘 恭浩 氏(愛知県代協会長)
- ・議事録署名人 高木 正博 氏(富山県代協会長) 井手 秀樹 氏(広島県代協会長)

(4) 2023年度通常総会付議事項

第1号議案 2022年度(第59期)事業報告案承認の件

第2号議案 2022年度(第59期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件

第3号議案 理事1名・監事1名の辞任に伴う理事1名・監事1名選任の件

- ・次に付議事項の内容に関する審議について、事務局より、第1号議案から第3号議案について説明があり、津田監事より監査報告を受け、審議採決の結果、全会一致で承認された。
通常総会の招集通知は5/17(水)に発送予定で、参考資料はHP書庫に登載する。

【決定したこと】

2023年度 通常総会付議事項審議

第1号議案 2022年度(第59期)事業報告案承認の件

1. 2022年度(第59期)事業報告 要旨
 2. 代理店・募集人の資質向上
 3. 公正な市場環境の構築・提言活動
 4. 実効性あるCSR活動の展開
 5. 組織力の強化
 6. 活力ある代理店制度の構築
 7. 広報活動の展開
 8. 代協会員への経営支援・情報の提供
 9. コンベンション
 10. 法人運営
- 付1.~付6.

第2号議案 2022年度(第59期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件
第3号議案 理事1名・監事1名の辞任の伴う理事1名・監事1名選任の件
理事 小見 隆彦 氏(本部事務局常勤 常務理事)および監事 白石 雅一 氏(共立株式会社)より、辞任の申し出があり、理事会は辞任届を受理した。
役員候補者の資格審査に関しては、5月8日(月)に資格審査委員会(廣瀬委員長、宮下委員、田中委員)を開催し、会員名簿及び理事または監事候補者略歴書等を個別に審査し、両候補者が適格であることを確認したとの報告があった。

退任	理事	小見 隆彦	
	監事	白石 雅一	(共立株式会社)
後任	理事	坂 雅夫	
	監事	小島 俊宏	(共立株式会社)
任期	定款第26条第3項により、前任者の任期の満了する時まで		

[資料 審1.] 1.2023年度通常総会招集通知案(P.1-7)、2.2023年度通常総会総会参考書類(P.8-44)

2. 事務所移転ならびに移転日

・事務局より、事務所の移転先ならびに移転日(移転後の業務開始日)について提案があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。(変更登記には、理事会決議を記した議事録提出が必要)

【決定したこと】

- ・移転先：東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル 327区
- ・移転日：2023年5月29日(月)

・なお、事務局のパソコン、コピー機等の梱包のため、5/26(金)午前12時以降、使用不能となるため、午後から休業とする。電話、FAX等も使用できなくなる。

3. 常務理事候補の選任

・会長より、常務理事候補の選任について提案があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・理事候補の坂 雅夫 氏を常務理事に選任する。
- ・本決議は6/16開催の通常総会における理事選任の決議後に効力を生じる。

4. 各委員会答申案

・委員会担当理事より、資料に基づき、2022年度の諮問・推進事項に関する答申案について報告があり、審議・採決の結果、今回の結論及び方向性が全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・各委員会からの答申案報告(委員会ごと資料)の通り、承認された。

【主な意見等】

- ・各委員長ともに、要所を抑えたわかり易い説明であった。
- ・BCP作成については、対前年で625店となっているが、2021年度は正会員実態調査の回答結果を反映させており、2022年度は取組目標に入れていない代協や把握し切れていない代協もあることが要因と考えられる。
- ・「マンパワーからの脱却」、「こなす代協行事から思いを伝える代協行事への変革」という課題を認識し、好取組事例を共有することから、組織づくりを目指すことは重要である。
- ・出前講座に関しては活発な地域と、開催していない地域が極端だった。取組みが進んでいる代協のノウハウを共有することが重要である。

- ・広報委員長の所感：対外広報・対内広報という2つの視点を対外広報・対内広報に修正。PR企画については新たな形の検討を行う。各代協が行っている広報活動（対外広報）についてはアンケートの集約ができ、7割強の代協が実施しており、20代協が100万円以上を費やしていることも確認できた。対内広報についてHP・メール・FaceBook・LINEの自己評価についても集められたので、今後、新企画に活かしていく。

〔地区別委員会別資料〕 各委員会答申案（地域別委員会別資料P.1-48）

5. 2022年度の取組みに関する表彰

- ・事務局より、2022年度の取組みに関する表彰について提案があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

(1)2022年度仲間づくり推進（代協正会員増強運動）の表彰 248万円

年間入会目標達成代協の表彰 202万円

- ・基準：入会目標+10店 10万、基準：入会目標+5店 7万、基準：入会目標+2店 5万、
基準：目標達成 3万
- ・会長特別表彰：連覇達成V4以降+1万円ずつ毎年加算、年間連Q稼働達成+1万円

2022年度

- ・基準 = +7大阪7万、+6福岡7万、基準 = +3青森5万、+3愛知5万、+2和歌山5万、
基準 = 北海道・岩手・福島・新潟・長野・群馬・千葉・神奈川・山梨・岐阜・三重・富山・石川・福井・滋賀・
京都・奈良・岡山・鳥取・広島・山口・徳島・香川・大分・長崎・宮崎・熊本・鹿児島・沖縄 = 3万
- ・会長特別表彰(連覇V4 1万/年数)V19福岡 = +16万、V10滋賀 = +7万、V9山梨・京都・奈良・長崎・熊本 = +6万V7徳島 = +4万、V5福井・鹿児島・沖縄 = +2万、V4北海道・三重・石川・大阪・山口・香川・宮崎 = +1万
- ・年間連Q稼働達成：青森・岩手・福島・新潟・三重・京都・奈良・大阪・和歌山・広島・山口・徳島・香川・福岡・宮崎・沖縄 = +1万

仲間づくり「入会・増強Wキャンペーン」の表彰 46万円

入賞した以下の23代協を表彰する。

- ・年間±0 達成：青森・岩手・新潟・長野・栃木・千葉・神奈川・山梨・愛知・岐阜・三重・富山・石川・滋賀
奈良・兵庫・広島・香川・福岡・大分・宮崎・鹿児島・沖縄…… +2万

(2)三冠王の表彰（ダイヤモンド三冠の9冠は該当なし） 188万円

（記載順：三冠王獲得決定日順）

ダイヤモンド三冠

- 8冠：山梨……(8万)
- 7冠：福井、愛知、富山……(7万)
- 6冠：広島、福岡、三重、徳島、神奈川……(6万)

プラチナ三冠：山口、岩手、香川、石川、鳥取……(5万)

ゴールド三冠：和歌山、京都、大阪、宮崎、新潟、滋賀、岡山、群馬、岐阜、鹿児島……(4万)

三冠王：青森、奈良、沖縄、長崎、大分、千葉、福島、北海道、熊本、長野……(3万)

連覇加算：以下の17代協が連覇

- 奈良、福井、京都、大阪、福岡、三重、徳島、宮崎、沖縄、長崎、熊本、北海道、石川、滋賀、
山梨、神奈川、鹿児島……(+2万)

【主な意見等】

- ・重点取組項目のうち、ジギョケイ、BCP、社労士診断認証については、目標達成代協の次年度の目標は高く設定されるが、高い目標を達成した代協に対して、何らかの評価を検討してほしいとの声がある。

現在、連覇加算の設営は、仲間づくり推進と三冠王だけであり、重点取組事項ごとの連覇加算等は運営が複雑になるだけでなく、項目が変わることもあり、また他の項目との調整も必要となるので難しく、会長懇談会の場でご披露し、称賛する対応としたい。

〔資料 審 5.〕2022 年度の取組みに関する表彰案（P.45）

6 . 2023 年度の「目指せ、三冠王！」の目標

- ・石川教育委員長より、資料に基づき、日本代協アカデミーの「目指せ、三冠王！」における目標の一部修正について提案があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・新システムの「利用申込会員数」のみを目標とする。
（数値自体は、従来通り、会員数については、「未利用代理店数×3%」とする。）
- ・目標値算出のベースは新システムの申込みをベースとする。

【説明内容】

- ・昨年度まで目標としていた「利用者 ID 登録数」は各会員の管理者が登録修正する度に変動する値であり、また、集計にも多大な負荷を要していたため、頻繁な集計ができないというデメリットがあった。事業計画では、従来通りの「利用登録代理店数」および「利用登録 ID 数」としていたが、裾野を広げる活動に集中することが肝要との判断から「利用申込会員数」のみを目標としたい。
- ・プラットフォームを移行した今回だけの課題として、目標設定のベースをどこにおくかという問題が発生した。新システムの申込みに注力した代協は、目標値がわずかに高くなるが、シンプルであるため、心機一転、新システムの利用申込みをベースとすることで委員会で決議された。
- ・三冠王ニュースも純増表示で分かりづらかったため、総数を表示するように改定する。

〔資料 審 6.〕2023 年度「目指せ、三冠王！」の日本代協アカデミーの目標のあり方（P.46）

ID 数目標案・代理店数目標案（P.47-48）

7 . 第 12 回日本代協コンベンション PT の活動開始

- ・事務局より、資料に基づき、第 12 回日本代協コンベンション PT の活動開始に当たっての方向性やコンセプトの説明があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・東京、神奈川、千葉、埼玉の各代協から 2 名ずつ選出された 8 名 + 事務局 2 名の PT メンバーで活動を開始する。
- ・年間活動スケジュール案に基づき、関係各所と交渉を進める。

【説明内容】

- ・4/13、2023 年度コンベンション PT の初回会議を開催した。東京、神奈川、千葉、埼玉の各代協から 2 名ずつ選出された 8 名 + 事務局 3 名の PT メンバーで始動した。
- ・リアル集合形式、立食での懇親会を復活したいが、最終決定は 7/14 の理事会でお諮りする。
- ・コンセプトは(仮)「シン代理店価値」～変革へのチャレンジ～という案を持っている。昨年、焦点を定めたが、今年は具体的な取組みに着手する年としたい。
- ・会長懇談会に変わるパネルディスカッションの企画も検討を進めている。
- ・基調講演は、SDG s 関係のテーマとしたいと考えている。村尾隆介氏（中小企業のブランド戦略に関する分野の第一人者であり、「今日からできる！小さな会社の SDG s」(青春出版社)著者)と打合せを行い、代協価格にて合意いただいた。懇親会も、ご当地 P R（阪神ブロック）アトラクションも前回依頼していた山形「木田流津軽三味線 津軽三絃秀栄会」会主の木田

林秀栄（きだ りんしゅうえい）先生に依頼し、出演の承諾をいただいている。

- ・分科会は、前回同様の4講座を予定し、ブレインマークス安東氏、昨年実施しアンケートで高評価だった古田土会計代表の古田土満氏は登壇了承の回答をいただいている。他の2名は先進的な取組みをされている代理店さんで群馬県代協の（株）中央ビジネス（RPA活用）、広島県代協の（株）KIC（SDGsの取組み）で検討を進めている。
- ・過去に懇親会の場で実施していた募金集めについては、実施するにはやり方を慎重に検討する必要がある。

〔資料 審7.〕2023年コンベンションPTメンバーならびにPT活動スケジュール案（P.49-51）

8. 組織委員会委員の交代

- ・事務局より、組織委員会委員の交代について報告があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・北陸ブロック選出の組織委員を 福井県代協の飯嶋一教 副会長に交代する。
- ・長崎・福井モデルを実践した人物であり、組織委員会での活躍が大いに期待できる。

〔報告事項〕

1. 各理事からの報告

- ・横山副会長より、以下の報告があった。

*委員会委員のブロック選出に関して、今一度、選出の視点等を確認いただきたい。また、今後の選出にあたっては特に地域担当理事と委員長理事が情報連携を密にして、委員会活動やブロック協議会の活性化につながる選出をお願いしたい。

委員改選により、全委員が交代してしまった委員会もあり、また前任者との引継ぎも十分実施されていないことも重なり、委員会活動の停滞が散見された。

本件は積年の課題でもあり、平成27年9月10日の理事会の意見・情報交換において、以下の委員選出の視点が共有されたが、地域の諸事情により、浸透にはバラツキが見られる。

「意欲があり、建設的な意見が言える者、ブロックの代表として地域の情報流通の核となる者（HP,FB,LINE 他活用の活用）、保険会社からの評判、同業者からの評判、地域の評判、損害保険トータルプランナー認定者（もしくは受講中、受講予定者）、国民年金・厚生年金、社会保険の適正加入、みなさまの保険情報の活用などお客さまへの日常の情報提供を工夫している者、人材育成の観点（若手の登用、女性の登用）など」

役員の選出も合わせ、各ブロック協議会会長、各代協会長と日本代協役員、事務局が連携を密にして 早めに情報共有していかなければならないことも付言されている。

【意見】

- ・指針を出してほしい。さらに各ブロック協議会会長や各代協会長とのヒアリングの場の設定もお願いしたい。ブロック協議会は日本代協の組織であり、指針を出して構わないのではないかと。また、委員選出の規定の改定を検討してはどうか。
- ・本質は委員会活動やブロック協議会活動を活性化することであり、選出の視点に関する指針等は内規であればともかく、改めて文書を発信することは適切と思えない。
- ・いずれにせよ、人材不足や地域の決め事（ブロック・ルーティン）があるという各地域

の実情の確認を行い、関係者間の情報連携を密にして、阻害要因をつぶし込んでいくことが重要である。各代協・ブロックの将来を担っていただける方を日本代協委員に送り込んで、委員会活動で成長していただき、地元に戻って還元するという好循環の構築を目指すことが大切である。

- ・会長懇談会の場で、改めて問題提起を行い、取組みを進める。
- ・藤山組織委員長より、以下の報告があった。
 - *4/21 に全国一斉 Zoom 組織委員会を開催した。全国各地から 51 名が参加し、高い評価を集め、前向きなコメントも多かった。活動、成果につなげられるようコミュニケーションをとり続ける。また、こなす代協行事から思いを伝える代協行事への変革を目指し、「長崎・福井モデル」の推進の定着化に向け、委員会やセミナー等で繰り返し、言及する。さらに、熱と情報を共有できる場であるブロック組織委員会も全ブロックで開催できるよう計画段階から寄り添っていく。
 - *支部活動好取組事例について、組織委員会内で各委員から発表することを継続実施する。
 - *退会理由が合併・統合以外の退会者の割合に着目し、圧縮を図る。ここ数年では 30% だったが、昨年度は 25% となったため、今年度は 20% を目標におき、取り組む。
 - *日本代協アカデミーは仲間づくりの大きな武器として活用する。
- ・大和広報委員長より以下の報告、提案があった。
 - *新日本保険新聞に、各代協の取組みに関する連載企画が 47 代協一巡し、二巡目に入った。今年度の掲載スケジュールを確認いただき、ご協力をお願いする。
 - *諮問事項：「会員へ、より情報が伝わる手法の研究、検討」に関する取組みの一環で、日本代協の理事会や委員会運営の効率化に資するツールとして LINEWORKS をグループウェアとして活用することの有効性について実演による提案があった。
現状の課題：多くの連絡がメールによるため、情報氾濫で埋もれている状態が散見される。
LINEWORKS でできること：グループチャット、組織図、カレンダー、ドライブ、掲示板等が活用できると考え、活用できないか模索している。
(既利用者のグループ切り替えや無料版のセキュリティレベルには留意が必要)
 - *各代協の対外広報・対内広報に関するアンケートの結果集計ができた。今まで把握できていなかった情報が確認できたため、委員会で揉んで新 P R 企画に活かしていきたい。
- ・北島理事より以下の報告があった。
 - *福岡県代協支部役員合同会議を初めて開催した。会議の目的は、1. 昨年度の振り返り、2. 2023 年度の事業計画(事業活動の基本方針と各種委員会の役割)、3. 代協運営の全般浸透、4. 分散会、5. 懇親会で得られたもの
 - *九州南ブロック協議会打合せ会を実施した。2023 年度事業、人材育成研修、運営詳細、PLANDO シート、各種費用について協議した。
 - *九州北ブロック会長会を Web 開催しただけでなく、ブロック長によるブロック内会長の訪問打ち合わせも実施した。また、5 名のメンバーによるマーケットデザイン研究会が立ち上がることとなった。

[地区別委員会別資料.] 各委員会別資料 (地域別委員会別資料 P.17-23、P.42-43、追加資料 P.3)

2 . 2022 年度三冠王獲得状況ならびに 2023 年度「目指せ、三冠王!」の取組項目の目標値

- ・事務局より、資料に基づき、2022年度三冠王の獲得状況の報告があり、共有された。またコンサルティングコース受講申込者数の目標を除いた2023年度の「目指せ、三冠王！」の各項目の目標についても説明があり、共有された。

〔資料 報1.〕1.2022年度「目指せ、三冠王！」結果（P.52）

2.2023年度「目指せ、三冠王！」各取組項目の目標値（P.53）

3. 監査実施報告

- ・事務局より、資料に基づき、監査実施報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・2023年5月11日(木)業務監査が行われた。
- ・事業報告に関しては、「2023年度通常総会の参考資料」にて報告を行った。
- ・期末決算会計監査では、特に問題となるような点の指摘はなかった。
会計処理の変更等は該当事項なし、重要な検出事項もなし、監事会に報告すべき不正及び違法行為も発見なし、重要な後発事象も該当なし、登記の重点監査項目の検討結果として監査意見を限定するような事項もなかった。
次期決算における留意事項については、事務所移転に伴う建物附属設備等の固定資産の会計処理に注意が必要とのアドバイスがあった。資産除去債務の計上の検討が必要となる。顧問税理士と連携し、適切に会計処理を進めていく。
- ・業務執行に関し、監事から特別な指摘事項はなかったが、以下のような質疑応答があった。

事務局の移転先について
移転先はどのような基準で決定したのか？すぐにまた移転という心配はないのか？

（執行理事見解）

移転先は、現事務所の近辺（千代田区内の有楽町駅、東京駅近辺）で家賃が同水準という観点で、現ビルのオーナーである三菱地所に相談して決定した。移転先である新大手町ビルは古いビルであるが、2001年に全館リニューアル済みであり、当面建て替え予定は無いことを、三菱地所（ビルオーナー）に確認済みである。

4. 前回理事会（2023.3.9開催）以降の主な業務報告

(1) 「仲間づくり推進（正会員増強運動）」3月末状況・4月末状況

- ・事務局より、資料に基づき、「仲間づくり推進」の3月末状況及び4月末状況について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・会員数は対前年度 97店（昨年度は 250店）で総計 10,997店となった。362店の入会（昨年度は 331店）に対して 459店の退会（昨年度は 581店の退会）[内 74.1%に当たる 340店が合併・統廃合による退会]だった。昨年度は 74.9%とほぼ同率だった。
- ・代申社別では、共栄+8店、AIG+4店、Chubb・セコム+2店と増店し、大同±0と現状維持であったが、損保ジャパン 38店、三井住友 31店、東海日動 26店、あいおい 11店、日新 3店、楽天 3店、大同 3店と減店となった。
- ・香川 84.7%、徳島 82.4%、京都 82.1%、奈良 76.1%、滋賀 74.6%、岡山 72.9%、和歌山 72.4%、鳥取 72.0%、石川 70.0%と9代協が70%を超えた。

- ・ 4月末：入会 46 店、退会 78 店（昨年は入会 30 店、退会 44 店）（退会 78 店のうち合併等は 73.1%となる 57 店）合計 32 店で合計 10,965 店となった。
- ・ 富山 2 店/目標 4 店 = 50.0%、岡山・福岡・沖縄 = 40.0%、京都・奈良が 33.3%と好スタート。
- ・ 代申社別では SJ 15 店、MS 12 店、日新 4 店、AIG・共栄 1 店の減店に対して、TN・AD・大同・楽天は±0、chubb は 1 店増店した。

〔資料 報 2.〕「仲間づくり推進」3 月分 1.代協別、2.代申社別（P.54-55）同 4 月分（追加資料 P.4-5）

（ 2 ） 損害保険大学課程各コースの認定状況等

- ・ 事務局より、資料に基づき、損害保険トータルプランナーの認定状況等について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・ 損害保険トータルプランナーの認定状況等

3 月末時点	損害保険トータルプランナー	19,784 名（ + 121 名）
	認定有効者数	16,256 名（ + 32 名）
	代理店検索機能登録	4,083 店（ 466 店）
	損害保険プランナー	93,624 名（ + 267 名）
	有効認定者数	48,915 名（ 7 名）
	ゴールドカード保有者	8,286 名（ + 42 名）

本年 3 月に当サイトのベンダー移管にあたり、移籍または合併したと思われる代理店を抽出する作業を実施し、移籍・合併したと思われる代理店は 508 店（4560 店中）を削除したため代理店検索サイトの登録数が減少した。

- ・ 2023 年度コンサルティングコース第 1 回セミナーの開催日程を決定した。7～10 月の間で総計 25 回開催する。ご支援ご協力をお願いする。

〔資料 報 3.〕損保トータルプランナー認定状況等 3 月末状況（P.56-60）

2023 年度コンサルティングコース第 1 回セミナーの開催日程（P.61）

（ 3 ） 日本代協アカデミー

- ・ 事務局より、資料に基づき、日本代協アカデミーの新システム利用状況等について報告があり、確認、共有された。

〔資料 報 4.〕日本代協アカデミー新システムの利用状況（P.62）

リスクマネジメント講座案内 <https://nd-academy.net/risukoza/>

（ 4 ） 代理店経営サポートデスク相談対応状況

- ・ 事務局より、資料に基づき、「代理店経営サポートデスク」の対応状況について説明があり、共有された。

【主な内容】

- ・ 代理店経営サポートデスクの電話相談日を、事業計画に記載のとおり、2023 年 4 月より現在の週 2 回（毎週水曜日と木曜日の 10 時～16 時）から週 1 回（毎週水曜日の 10～16 時）へ変更している。
- ・ 案内ちらしのとおり、電話・メール・Zoom（招待メール方式）で相談を行っている。
- ・ 教育委員会、各ブロックと連携し、日本代協アカデミーに新番組収録「ボクらの NEXT チ

チャレンジ!」(仮)を年6回掲載していく。

[資料 報5.]「代理店経営サポートデスク」相談分類整理、概況ちらし(P.63-64)

5. その他

(1) 業界最新情報

- ・事務局より、業界最新情報に関する報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・各代協のWeb環境構築の支援(第三弾)を4/25に案内しているが、今年度で支援は終了とする。元来、新しいパソコンやモニター等のハードの充実のための資金が不足する代協を支援し、Web環境を構築するという主旨で支援を始めたもので、今年で3年間継続したが、コロナ終息で日本代協の支出が収入を上回ってきたため、終了する時期と判断する。また、10月よりインボイス制度もスタートするので、適格請求書の取り付けなど経理事務が煩雑化するため、今年の申請は8月末厳守と設定させていただいた。

- ・「代理店自己点検レベルアップ講座」の提供

本講座は、2022年度の事業計画に対する提言に基づき作成したもので、4/25にメールにて案内している。

講座の内容は以下の3ステップのカリキュラムで構成している。

- ・講座1 e-Learning 動画による視聴研修(無料)特段の申し込み手続きは不要で、日本代協HP トップページのバナーから、会員の誰でも学ぶことができる。

<https://www.nihondaikyo.or.jp/guideline/17333/>

ID、PWが必要。

- ・講座2 Webによる実務研修_講座1を修了された方が希望に応じて受講するもの。

初回監査料金は88,000円(税込)、次年度以降55,000円(税込)

- ・講座3 訪問による実務指導研修_講座2を修了された方が希望に応じて受講するもの。

研修費用は165,000円(税込)プラス旅費(宿泊・交通費)

さらに、全講座を修了した方には「代理店点検管理マイスター認定証」を授与する。

- ・損保労連との意見交換会を5/11(木)16~18時に日本代協会議室にて開催した。テーマは「人権尊重のさらなる取組みに向けて」、「カスタマーハラスメント対策に向けた対応」とし、各課題と要因を共有し、取組みを進めるうえでの支援や要望に関する意見交換を行った。
- ・事務局の運営方針として、4月に事務局メンバーに配布したものを参考までに添付した。
- ・6/16 会長懇談会における表彰の運営について、地域担当理事のお知恵を拝借したい。項目、代協ごとの表彰式シナリオの資料を確認いただき、盛り上げ策を検討いただきたい。好取組発表は、8冠の山梨、初入賞で7冠の愛知、富山という案としたが、初入賞の代協会長にも登壇いただく形も検討する。(初入賞は、愛知、富山、広島、新潟、群馬、岐阜、青森、大分、千葉、福島と10代協ある。)

[資料 報6.] 1. 協会長ステートメント0316 (P.65-69)

https://www.sonpo.or.jp/news/release/2022/ctuevu0000016317-att/230316_01.pdf

2. 業界団体との意見交換会において金融庁が提起した主な論点(P.70-80)

https://www.fsa.go.jp/common/ronten/202302/05_2.pdf

3. 各代協の「Web環境構築の支援」について(申請期限は8月末)(P.81-82)

4. 2023年度の各代協の総会開催日程並びに各代協総会挨拶文案（P.83-85）
5. 代理店自己点検レベルアップ講座（P.86-87）
6. 事務局の運営方針（P.88）

〔監事講評〕

津田監事から以下の通り、監事講評があった。

本日の理事会では審議事項、報告事項ともに適正な運営がなされ、熱心な討議がなされたものと判断する。

今日の理事会の大きな目的は来月の総会の円滑な運営と会長懇談会での情報共有と意思統一と考えるが、議案の内容については穏やかな大人の会合であったと感じた。

一方で、NHKの朝ドラ「らんまん」では牧野富太郎が「雑草という草はない。どんな植物でも皆名前があって、それぞれ自分の好きな場所で生を営んでいる。人間の一方的な考え方で、これを雑草と決め付けてしまうのはいけない。注意するように」「草花にはそこで咲く意味がある。」と言われたということが思い起こされた。本日、話がくどいと感じられた方もおられるかもしれないが、置かれた環境やご苦勞が察しられ、思いの丈を吐露することで、局面まで含んだ情報交換ができ、いい会合であったと思料する。

以上

< 諸会議開催予定 >

会議の追加もしくは下記の日程及び時間は変更することもあり得ます。

理事会開催日の午前中(原則10:30-12:00)は正副会長は直前の打ち合わせを行います。

総会・および会議名	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月
総会			6/16(金) 10:00-11:00			
会長懇談会			6/16(金) 13:00-18:00			9/15(金) 13:00-18:00 Zoom開催
理事会 (正副は当日AM 打合せあり)		5/12(金) 13:00-17:00		7/14(金) 13:00-17:00		9/14(木) 13:00-17:00
正副会長会議	4/25(火) 9:00-11:00 Zoom		6/15(木) 13:00-17:00リアル 6/27(火) 9:00-11:00 zoom		8/29(火) 9:00-11:00 Zoom	9/26(火) 9:00-11:00 Zoom
事業計画 諮問事項打ち合わせ						
企画環境委員会	4/11(火) 13:30-17:00		6/26(月) 13:30-17:00	全国一斉 Zoom 7/4(火) 13:30-17:00		9/11(月) 13:30-17:00
教育委員会	4/28(金) 10-18:00		6/30(金) 10-18:00			9/1(金) 10-18:00
組織委員会	全国一斉 4/21(金) 13-17:00			7/7(金) 13-17:00		9/8(金) 13-17:00
CSR委員会	4/20(木) 13:30-17:00		6/23(金) 13:30-17:00			9/19(火) 13:30-17:00
広報委員会	4/6(木) 13:30-17:00		6/20(火) 13:30-17:00			9/13(水) 13:30-17:00
活力研				7/27(木) 15:00-18:00		
7社懇				7/13(木) 16:00~17:30		
業界紙との意見交換 会				7/6(木) 15:30-17:30		
コンベンション (PT)	4/13(火) 16:00-18:00	5/23(火) 16:00-18:00	6/21(水) 16:00-18:00	7/21(金) 14:00-16:00	8/25(金) 16:00-18:00	9/21(木) 16:00-18:00
代理店経営未来塾	4/10(月) 15:00-17:30			7/28(金) 13:30-17:00 サマースクール		

< 修正履歴 >

2023.2 CSR委員会9月日程を修正

2023.3 2024年3月 総会、会長懇談会、理事会日程決定

2023/4/11 コンベンションPT会議、代理店経営未来塾 日程追加

2023/4/13 企画環境委員会 Zoom会議日程追加

2023/4/14 コンベンションPT 5月日程変更

2023/4/18 活力研・7社懇・業界紙 日程追加

2023/4/27 9月、12月の会長懇談会はZoom開催の旨追記

総会・および会議名	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月
総会						3/8(金) 10:00-12:00
会長懇談会			12/8(金) 13:00-18:00 Zoom開催			3/8(金) 13:00-18:00
理事会 (正副は当日AM 打合せあり)	10/13(金) 13:00-17:00		12/7(木) 13:00-17:00		2/9(金) 13:00-17:00	3/7(木) 13:00-17:00
正副会長会議		11/21(火) 9:00-11:00 Zoom		1/23(火) 9:00-11:00 Zoom		
事業計画 諮問事項打ち合わせ			12/6(水) 15:30-18:00			
企画環境委員会		Zoom 11/13(月) 15:00-17:00		1/16(火) 13:30-17:00	Zoom 2/19(月) 15:00-17:00	
教育委員会				1/26(金) 10-18:00		
組織委員会		11/8(水) 13-17:00		1/24(水) 13-17:00		
CSR委員会				1/19(金) 13:30-17:00		
広報委員会				1/23(火) 13:30-17:00		
活力研					2/21(水) 15:00-18:00	
7社懇						
業界紙との意見交換 会						
コンベンション (PT)	10/19(木) 16:00-18:00	11/9(木) 16:00-18:00 11/17(金)18(土)			未定	
代理店経営未来塾		11/21(火) 15:00-17:30	12/18(月) 15:00-17:30	1/15(月) 15:00-17:30	2/26(月) 15:00-17:30	3/18(月) 15:00-17:30

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、午後4時45分閉会した。

なお、WEB会議システムにより、出席者の音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態が保たれ、終始異状なく議案の審議を終了した。

上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2023年5月12日

議長 会 長 小 田 島 綾 子 印

議事録署名人 監 事 津 田 文 雄 印

議事録作成者 小見 隆彦

以上

本書は、2023年5月12日に開催された一般社団法人 日本損害保険代理業協会の2023年度第1回理事会の議事録に相違ないことを証す。

2023年5月12日
一般社団法人 日本損害保険代理業協会
会長(理事) 小 田 島 綾 子